

会津若松市 内水ハザードマップ

保存版



このマップの目的は？

短時間の集中豪雨（ゲリラ豪雨）によって、水路などで排水しきれなくなった雨水があふれ、浸水が発生した場合を想定したものです。お住まいの地域が、どの程度浸水するおそれがあるのかをご確認いただき、浸水被害軽減のためにお役にください。 ※台風や長時間にわたる大雨などにより洪水による浸水が想定される場合は、別に発行している「会津若松市ハザードマップ」をご確認ください。

このマップで得られる情報は？

- ✓ 浸水が想定される区域と浸水の深さ
- ✓ 関係機関連絡先
- ✓ 降雨時の行動の目安
- ✓ 水害に対する日頃の備え
- ✓ 防災情報の取得方法
- ✓ 避難の方法



●内水ハザードマップに関するお問い合わせ先
 会津若松市 建設部 都市計画課 TEL：0242-39-1261
 会津若松市 上下水道局 下水道施設課 TEL：0242-23-9501
 令和3年3月 作成

関係機関連絡先

行政機関や救急医療体制に関する連絡先を確認しましょう。

防災関係機関である行政機関に関する連絡先を確認しましょう。また、本市の救急医療体制とその連絡先についても事前に確認しておきましょう。

行政機関一覧表

名称	所在地	電話番号
市		
会津若松市役所	東栄町3-46	0242-39-1111
国		
郡山国道事務所 会津若松出張所	町北町大字始字北台105	0242-23-1241
阿賀川河川事務所	表町2-70	0242-26-6441
県		
会津若松建設事務所	追手町7-5	0242-29-5408
警察		
会津若松警察署	山見町248	0242-22-5454

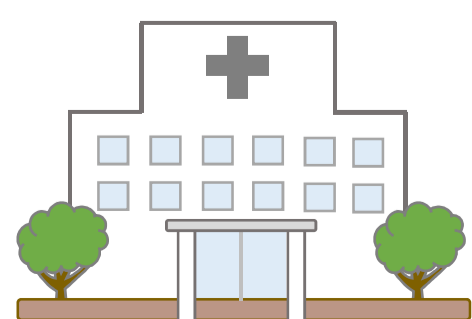
本市の救急医療体制図

重症	三次救急	救命救急センター (会津中央病院内)	0242-25-1515
	二次救急	竹田綜合病院 (休日・夜間の小児二次救急は竹田綜合病院へ) 会津中央病院 会津医療センター	0242-27-5511 0242-25-1515 0242-75-2100
軽症	初期医療	休日当番医(休日の昼間) ※市政だよりやHPなどでご確認ください 夜間急病センター(夜間)	0242-28-1199

会津若松市休日当番医 検索



(市公式ホームページ 休日当番医)



降雨時の行動の目安

内水ハザードマップの使い方

平常時

- ・本マップの情報を参照し日頃から内水浸水が起こった際の行動について家族で確認しましょう。
- ・会津若松市ハザードマップ（別マップ）も併せて確認しましょう。

降雨前

- ・大雨に関する気象情報を得たり雷鳴が聞こえ始めたら当マップで浸水が想定される区域と浸水の深さを確認しましょう。

- ・今いる場所が浸水想定区域である。(着色されている。)

- ・土のうの準備
- ・車の移動
- ・避難の準備

避難行動の目安

- 浸水深50cm未満
- 浸水深50cm以上

- ・建物内の高いところや上の階に移動しましょう。
- ・避難場所など安全な場所へ移動しましょう。

- ・洪水に至る場合があるため、河川の水位情報に注意し会津若松市ハザードマップ（別マップ）を参照して備えましょう。
- ※本マップの浸水想定は目安であるため、状況に応じて適切な避難の判断をお願いします。

雨の強さと行動の目安

雨量	雨の強さ	雨の降り方
1時間雨量(mm)	10以上～20未満	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。
	20以上～30未満	どしゃ降りのように降る。傘をかざしていてもぬれる。
	30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。
	50以上～80未満	ゴーゴーと激しく降る。傘は全く役に立たなくなる。
	80以上～	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。

行動の目安

情報収集	気象情報の収集。雨の継続中は、地盤のゆるみに注意	予報・注意報などに注意	避難に関する情報に注意
自助	河川や水路など注意を要する箇所に近づかない	土のうなどの準備や低地部の車の移動	初期の浸水対応、地下空間から退避
共助	地域防災への取組など	状況により自主防災組織の活動への協力	状況により要配慮者への支援に協力

避難情報の種類と取るべき行動

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等
5	命を守る最善の行動をしましょう	災害発生情報
4	危険な場所から全員避難しましょう	避難勧告・避難指示(緊急)
3	危険な場所から高齢者などは避難しましょう	避難準備・高齢者等避難開始
2	ハザードマップ等で避難方法を確認しましょう	大雨注意報・洪水注意報
1	最新情報に注意しましょう	早期注意情報

浸水発生のメカニズム

通常の雨のとき

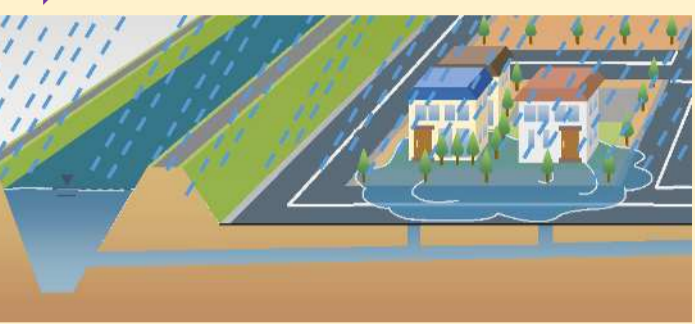
降った雨は、水路などを通して河川に排水されています。



内水による浸水とは

内水による浸水とは、雨の量が水路などの排水施設の能力を超えたり河川の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。

内水ハザードマップ（本マップ）



洪水による浸水とは

洪水による浸水とは、大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりすることで、浸水することです。

会津若松市ハザードマップ（別に発行しているマップ）



水害に対する日頃の備え

家庭で備えましょう

側溝や雨水ますの清掃

側溝や雨水ますに落ち葉やゴミなどが詰まったりすると、浸水の原因になるので清掃をしましょう。



避難ルートの事前確認

避難場所までのルートをあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。



床上浸水に備えましょう

床上浸水のおそれがある場合は、家財道具を2階などの高いところへ移動させましょう。



非常時持出品をまとめましょう

非常時の持出品をまとめ、身近なところにおいて、いつでも避難できるようにしておきましょう。



土のうの設置

土のう配備場所を事前に確認し、土のうを出入り口などに設置して水の浸入を防ぎましょう。土のう配備場所は地図面を参照下さい。



地域で協力しましょう

防災知識の普及

地域ごとの防災マップの作成、防災講習会、防災映画上映会の開催、地域のお祭りや運動会などでの防災イベントなどを実施して防災知識を高めましょう。



防災訓練の実施

防災訓練を実施して、災害時に適切な水防活動や避難誘導などが行えるようにしましょう。



要配慮者への協力

高齢者や体の不自由な人など要配慮者の避難に協力しましょう。日頃から要配慮者との交流を通して信頼関係と支援体制を作っておきましょう。



防災資機材の準備

ヘルメット、消火器、バールなどの作業道具、非常食品、救急医薬品などの防災資機材や備蓄品を管理して、災害時に備えておきましょう。



避難の方法

屋内での避難

浸水が始まり、外に出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の上の階などに避難し、水が引くのを待ちましょう。



避難所などへの避難

テレビ・ラジオなどで気象や河川の状況などを把握し、浸水被害の無い親戚や知人宅へ自主的に避難することや、市から避難勧告などが発令された場合は、市が指定する避難所への避難があります。



避難時の危険箇所

道路や鉄道などの立体交差部（ファンダーパスや地下歩道）では、降雨時に周辺よりも浸水しやすくなるため、大変危険ですので、近づかないようにしましょう。



防災情報の取得方法

災害発生の危険が高まったときや災害発生時には、様々な方法で情報が発信されます。大切な情報を自ら取得できるよう、普段から確認しておきましょう。

①携帯電話からの取得方法

総合案内

- 市公式ホームページ
- 市公式Twitter

防災情報

- 防災メール(あいべあ)※
- Yahoo! 防災情報アプリ(インストールが必要)

※防災情報メールのQRコードを携帯のみ、空メールを送信してください。自動で登録メールが届きますので、送信メールの内容に従って登録をお願いします。

気象情報

- 気象庁福島地方気象台(県内の気象情報)
- 気象庁 浸水予報(今後の降水予測)
- 気象庁 土砂災害警戒レベルメッシュ情報

河川情報

- 福島県河川流域総合情報システム(雨量・水位・土砂災害情報)
- 国土交通省 川の防災情報(河川・雨量等の情報)
- 国土交通省 重ねるハザードマップ

②その他の取得方法

- インターネット
- ラジオ・テレビ放送
- 広報車

浸水に強いまちづくり

市内の水門の遠隔監視制御を進めています

水路の流量を調節する水門の遠隔監視制御を進めており、浸水被害が予測される場合には、パソコンやスマートフォンから遠隔操作をしています。短時間の集中豪雨（ゲリラ豪雨）による急な増水に対し、素早い対応をすることで浸水被害を軽減しています。

水門の遠隔監視制御

現在、遠隔監視制御化された水門は市内で22箇所あります。降雨時は監視カメラで状況を確認し、水量を調節する事ができます。



雨水幹線の整備を進めています

降った雨を集め排水する雨水幹線を道路などに埋設し、浸水被害の軽減を図っています。

